

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：有限会社荒木商会



2024年2月29日

株式会社 富山第一銀行

# 目次

1.	はじめに. . . . .	2
2.	会社概要. . . . .	3
	(1) 企業概要	
	(2) 経営理念・ミッション	
	(3) 沿革	
	(4) 組織図	
	(5) セグメント構成	
	(6) バリューチェーン	
3.	事業内容. . . . .	8
	(1) リサイクル事業	
	(2) 片づけ事業	
	(3) 解体事業	
	(4) リユース・リメイク事業	
	(5) 一般廃棄物回収	
	(6) 就労支援 A 型事務所	
4.	環境問題への取組み. . . . .	14
5.	職場環境. . . . .	15
	(1) 福利厚生制度	
	(2) 教育制度	
	(3) ダイバーシティへの取組み	
	(4) BCP 策定	
6.	地域貢献活動. . . . .	18
7.	インパクトの特定. . . . .	19
	(1) インパクトレーダーによるマッピング	
	(2) インパクトカテゴリーに対する SDG s ゴール	
	(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
	(4) インパクトの特定	
	(5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
8.	KPI の設定. . . . .	22
9.	管理体制とモニタリング. . . . .	26

# 1. はじめに

富山第一銀行は、有限会社荒木商会に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

資金調達は、有限会社荒木商会で行う。当社を中核企業として、顧客の需要に幅広く対応するため、一般廃棄物収集運搬を行う「株式会社柴垣商店」、リユース・リメイク事業を行う「株式会社ROKA STYLE」、就労継続支援 A 型事務所兼機器解体の外注先となっている「一般社団法人はたらくよるこび」の計 4 社でグループを形成。グループ各社は事業戦略上、各々が密接に連携して事業展開を行っている。このため、インパクト分析の評価にあたっては、グループ全体を対象として行った。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、有限会社荒木商会グループ（以下、当社グループ）の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組を支援するため、当社グループに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	有限会社 荒木商会
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2024 年 2 月 29 日～5 年間
金額	100 百万円
資金用途	経常運転資金

## 2. 会社概要

### (1) 企業概要

社名	有限会社荒木商会
代表者	代表取締役 荒木 信幸
本社	〒933-0951 富山県高岡市長慶寺 755 番地
事業内容	金属、樹脂スクラップ売買業 産業廃棄物収集及び処分業 国内外向け中古品売買事業 遺品整理等片付け事業 解体事業
設立年月	1956年4月30日
資本金	3百万円
売上高	652百万円(2023年3月期)
従業員	役員2名、正社員26名、準社員1名、パート13名 計42名 (2023年12月末日時点)
許認可	産業廃棄物収集運搬業 許可番号：1616025491(富山県) 許可番号：01709025491(石川県) 産業廃棄物処分業許可 許可番号：01629025491 古物商 許可番号：501230008050 建設業許可 許可番号：第16609号 一般廃棄物収集運搬業(株式会社柴垣商店)
登録	エコステージ2 障害者雇用に関する優良な中小企業主に対する認定制度(もにす認定)
事業所一覧	<b>【本社】</b> 富山県高岡市長慶寺 755 TEL：0766-28-9333 <b>【立野工場】</b> 富山県高岡市宝来町 116 <b>【富山支店】</b> 富山県富山市婦中町長沢 2583-2

グループ会社	【株式会社 ROKA STYLE】 富山県高岡市立野 3065 番地
	【株式会社柴垣商店】 富山県高岡市野村寿町 978-8 TEL：0766-23-3057
	【一般社団法人はたらくよろこび】 富山県高岡市立野 3037 番地 TEL：0766-54-6624

## (2)経営理念・使命

### 経営理念-Corporate philosophy-

**社員** 私たちは、調和と成長により、物心両面の豊かな人生を追求します。

**お客様** 私たちは、最善の価値を創造し、安心と感謝を提供します。

**社会** 私たちは、地球環境と有限な資源を守る仲間と共に、子供たちが安心して過ごせる未来に貢献し続けます。

### 使命-Mission-

#### ゴミのない社会の実現

子どもたちが安心して暮らせる社会を目指すためには、地球環境と有限な資源を守ることが必要不可欠だと考えます。

当社は「捨てずに活かす」をモットーに、ゴミのない社会の実現に挑戦し続けます。

#### 誰もが安心して働ける社会の実現

当社は「人種的」「社会的」「労働者の多様性」を企業の在り方に適応させる、ダイバーシティ経営（誰もが安心して働ける社会）を目指しています。社員全員が生き生きと働ける環境を目指し、作り、整える。こうした組織を『自社の強み』とし様々な業務内で成果を作り上げていきます。

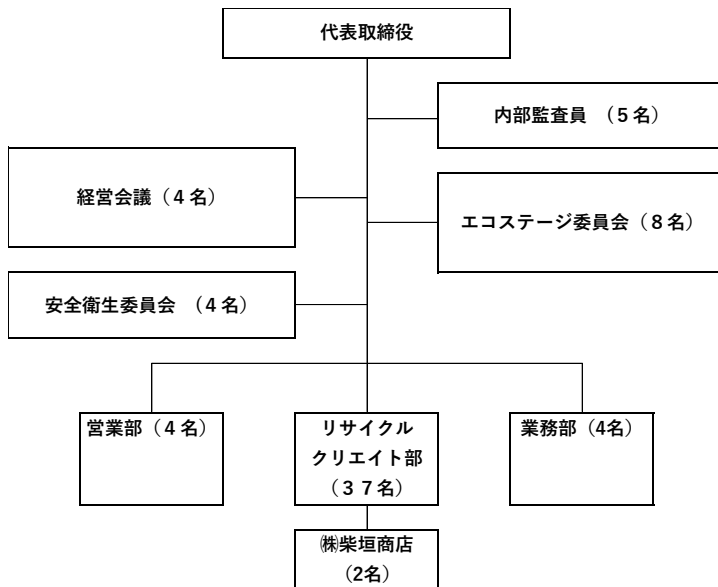
当社は『リサイクル価値創造企業』として新たな価値を提供できる企業づくりと、問題解決ができる末端の商品開発に取り組んでいます。新たな価値あるモノに生まれ変わらせる工程は、創造力が必要であり、リサイクルの最大の魅力こそが「創造力」と考えています。

当社では今までもこれから先も、環境に配慮したリサイクルを軸に、5R（Reduce=ゴミを減らす、Reuse=再利用、Recycle=再資源化、Remake=形を変えてモノを活かす、Repair=修理する）を考え、事業活動及び職場環境に活かし、廃棄物の削減、有効活用の促進に努めます。

### (3)沿革

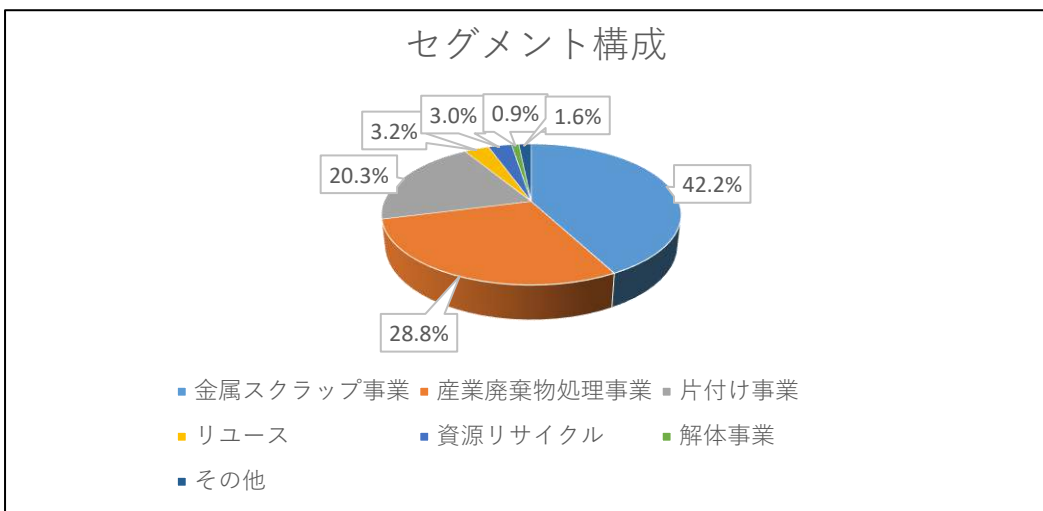
年月	概要
1956年	鉄屑売買業として創業・設立
1958年	一斗缶の製造及び販売 開始
1993年	サッシ解体業（サッシメーカー下請業） 開始
1994年	産業廃棄物収集運搬許可取得（富山県）
2005年	代表取締役変更 樹脂スクラップ事業 開始
2006年	古物商許可取得（富山県公安委員会）
2007年	産業廃棄物処分業許可取得 高岡市立野から高岡市長慶寺に移転 HDD及びメディアデータ消去事業 開始
2008年	ISO14001 認証取得
2009年	産業廃棄物収集運搬許可取得（石川県）
2015年	解体工事業登録
2016年	関連会社（一社）はたらくよろこび 設立
2018年	ISO14001 廃止、エコステージ2 認証取得
2019年	立野工場設置 関連会社 株式会社柴垣商店 設立
2020年	建設業許可取得 特別支援学校就労応援団とやま登録 富山県内第1号
2023年	エコアクションひろば 設置 富山営業所（富山市婦中町）設置 株式会社 ROKA STYLE 設立 障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認証制度（もにす認定）取得

#### (4)組織図



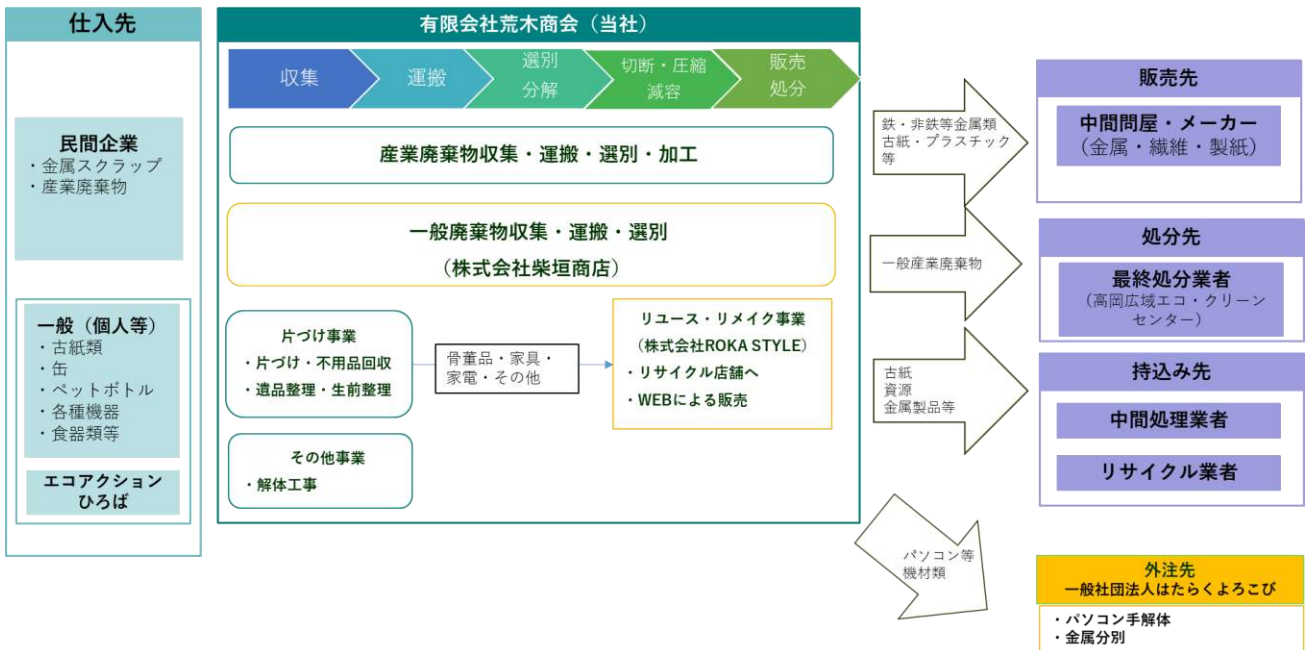
#### (5)セグメント構成

当社グループの2023年度上半期の事業セグメントは金属スクラップ事業が40%超と売上構成の高い割合を占めている。



セグメント種類	細目	割合
金属スクラップ事業	鉄・非鉄スクラップ事業	42.2%
産業廃棄物処理事業	産業廃棄物処理事業	28.8%
片付け事業	個人宅・法人の片付け事業	20.3%
リユース	エコアクションひろば・片付け事業のリユース事業	3.2%
資源リサイクル	プラ・古紙リサイクル事業	3.0%
解体事業	個人宅・会社の建物解体事業	0.9%
その他事業	データ消去・一斗缶回収等	1.6%
計		100%

## (6)バリューチェーン





## 3. 事業概要

### (1) リサイクル事業

当社グループは富山県・石川県を主要営業エリアとして、事業者から排出される金属スクラップや一般廃棄物、産業廃棄物、粗大ごみ、リサイクル品と多岐に渡る廃棄物の収集、運搬に臨機応変にワンストップで対応している。顧客の「お困りごと解決業」として不用品や廃棄物、リサイクルに関する困りごとに対し「できない」「わからない」を言わないことをモットーに迅速に対応を行っている。リサイクル事業は手解体、手選別を強みとしている。機械ではなく、手を使うことによって機械選別よりも詳細で丁寧な選別が可能となり、部品の細部までリサイクルすることができている。

#### ① 金属スクラップ

アルミをメインとした金属全般を広く取り扱いしており、国内外の製鋼メーカーや精錬所でリサイクル原料として活用されている。アルミサッシやガスメーター、給湯器、家電から適切に分解、仕分け、選別を行い各メーカーや問屋に販売を行っている。

#### ② 産業廃棄物収集運搬および処分

産業廃棄物の中間処理業者として富山県・石川県の収集運搬及び処分業の許認可を受けている。排出事業者や家庭からの回収依頼を受け、委託契約に基づき収集運搬を行い、当社グループにて選別・分解を行い“各メーカーに販売しリサイクルを行うもの”“最終処分業者に処分委託するもの”に分別を行った後、適切な処理を行っている。

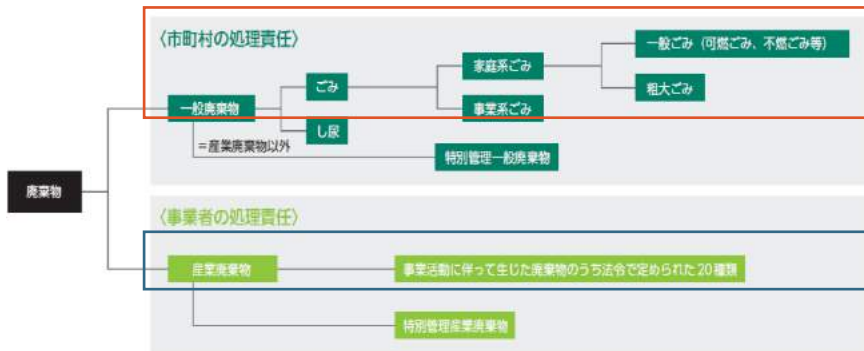
・ 廃プラスチックについては切断、圧縮、減容を行ったのち、インゴットにして原料として販売




・ 回収された包装用 PE フィルムは圧縮し販売後、原料としてリサイクル



## ■ 廃棄物分類



  
柴垣商店回収範囲

  
荒木商会回収範囲

出所：環境省「令和5年度版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に分けられ、一般廃棄物においては区域を管轄する市町村長の許可が必要となり、当社グループでは株式会社柴垣商店が、生し尿や浄化槽汚泥を除く一般廃棄物の収集運搬許認可を取得している。産業廃棄物は、有限会社荒木商会が収集運搬業、産業廃棄物処分業の許可を取得している。

### ■ 産業廃棄物に該当する20種類 赤枠内は当社グループ事業取扱範囲

産業廃棄物の種類		例	
すべての業種に共通	1	燃え殻	石炭がら、コークス灰、産業廃棄物の焼却残さ
	2	汚泥	メッキ汚泥、排水処理汚泥、ビルピット汚泥、下水汚泥
	3	廃油	廃潤滑油、廃切削油、シンナー等廃溶剤類
	4	廃酸	廃硫酸、廃硝酸、廃塩酸、廃定着液
	5	廃アルカリ	廃ソーダ液、金属せっけん廃液、廃現像液
	6	廃プラスチック類	ビニルくず、発泡スチロールくず、合成ゴムくず
	7	ゴムくず	天然ゴムくず
	8	金属くず	研磨くず、切削くず、空缶、金属スクラップ
	9	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	ガラスくず、レンガくず、コンクリート製造のくず
	10	鉱さい	スラグ、ノロ、廃鑄物砂
	11	がれき類	工作物の新築・改築等で発生したコンクリート破片等
	12	ばいじん	ばい煙発生施設等で発生するばいじん等で集じん施設で集められたもの
特定の業種によるもの	13	紙くず	工作物の新築・改築等で発生した紙くず、パルプ・紙等製造業、印刷業、製本業、印刷物加工業で発生した紙くず
	14	木くず	工作物の新築・改築等で発生したもの、木材・木製品・パルプ製造業、輸入木材卸売業、物品賃貸業で発生した木くず、物流で発生した廃パレット
	15	繊維くず	工作物の新築・改築等で発生したものや繊維工業の天然繊維くず
	16	動植物性残さ	食料品・医薬品・香料製造業で原料として使用した動植物の固形状の不要物
	17	動物系固形不要物	と畜場の獣畜・食鳥に係る固形状の不要物
	18	動物のふん尿	畜産農業の動物のふん尿
	19	動物の死体	畜産農業の動物の死体
20	上記1から19の産業廃棄物を処理したもので、1から19に該当しないもの(コンクリート固型化物等)		

荒木商会  
産業廃棄物収集運搬許可（富山県）

許可番号 01624025491

### 産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 富山県高岡市立野2724番地  
 氏 名 有限会社荒木商会  
 (法人にあっては名称、代表取締役、代表、理事及び代表者の氏名)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

富山県知事 石井 隆

許可の年月日 令和元年11月15日  
 許可の有効年月日 令和6年11月15日

1. 事業の種類  
 (収集運搬) (積替え、発酵を含む)  
 高プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
 (以上3種類)  
 (収集運搬) (積替え、発酵を除く)  
 汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残渣、がれき類  
 (以上3種類)  
 (これら以外の産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物の収集運搬を認めず。水銀使用製品産業廃棄物であるものを除き、水銀含有びいしょ等であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2. 積替え又は廃棄を行うすべての場所の所在地及び処理施設に当該場所ごとの積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上積み及び積み上げることができる高さ

積替え又は廃棄を行う場所の所在地	積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の種類	積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の高さ	積替え又は廃棄を行う場所の所在地	積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の種類	積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の高さ
高岡市立野2724番地	高プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくずの廃棄物(清浄物)	3.0m			

3. 許可の条件  
なし

(2枚中1枚目)

荒木商会  
産業廃棄物処分業許可（富山県）

許可番号 01624025491

### 産業廃棄物処分業許可証

住 所 富山県高岡市立野2724番地  
 氏 名 有限会社荒木商会  
 (法人にあっては名称、代表取締役、代表、理事及び代表者の氏名)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

富山県知事 新田 八 朗

許可の年月日 令和4年12月30日  
 許可の有効年月日 令和9年12月30日

1. 事業の種類  
 事業の区分 中級処理 切刻、圧縮、減容  
 産業廃棄物の種類  
 (切 刻) 高プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (以上4種類)  
 (圧 縮) 高プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず (以上4種類)  
 (減 容) 高プラスチック類 (以上1種類)  
 (これらのうち自動車等破砕物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2. 事業の用に供するすべての施設

事業の種類	事業の区分	事業の所在地	処理能力	許可開始年月日	許可更新
切刻	高プラスチック類等	富山県高岡市立野2724番地	1.31/年(4種類)		
切刻	高プラスチック類等	富山県高岡市立野2724番地	6.31/年(4種類)		
切刻	高プラスチック類等	富山県高岡市立野2724番地	5.41/年(4種類)		
圧縮	高プラスチック類等	富山県高岡市立野2724番地	4.11/年(4種類)		
減容	高プラスチック類等	富山県高岡市立野2724番地	0.41/年(4種類)		

3. 許可の条件  
なし

4. 許可の更新又は変更の状況  
 平成19年12月15日 申請経緯 【新規許可】 許可番号 01629025491  
 平成19年12月15日 申請経緯 【新規許可】 許可番号 01624025491  
 平成19年12月15日 申請経緯 【変更許可】 許可番号 01629025491  
 平成19年12月15日 申請経緯 【変更許可】 許可番号 01629025491  
 令和4年12月30日 申請経緯 【更新許可】 許可番号 01629025491

5. 施設第1号の4第1項の規定による許可証の提出の有無  
無

荒木商会  
産業廃棄物収集運搬業許可（石川県）

許可番号 917090591 号

### 産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 富山県高岡市立野2724番地  
 氏 名 有限会社荒木商会  
 代表取締役 荒木 健幸

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

石川県知事 谷本 正 幸

許可の年月日 令和元年10月17日  
 許可の有効年月日 令和6年 9月27日

1. 事業の種類  
 (収集運搬) (積替え、発酵を除く)  
 高プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
 (以上4種類)  
 (※ 本許可証にあっては、水銀使用製品産業廃棄物の収集運搬を認めず。これら以外の産業廃棄物であるもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2. 積替え又は廃棄を行うすべての場所の所在地及び処理施設に当該場所ごとの積替え又は廃棄を行う産業廃棄物の種類、保管のための保管上積み及び積み上げることができる高さ

3. 許可の条件  
なし

4. 許可の更新又は変更の状況  
 平成27年 9月25日 許 可 世 平成27年 1月28日 更 新  
 市 令 三年10月17日 更 新

5. 積替え許可の有無  
無

6. 施設第1号の2第6項の規定による許可証の提出の有無  
無

柴垣商店  
一般廃棄物収集運搬業許可（高岡市）

高岡市許可番号 第461号  
 令和4年3月18日

### 一般廃棄物収集運搬業許可証

住 所 富山県高岡市野村79番地  
 氏 名 代表取締役 柴垣 美津 穂

高岡市長 柴垣 博 之

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

1. 事業の種類  
 収集運搬 (生ゴミ、浄化槽内排水を除く)

2. 積 集 所 富山県高岡市野村79番地

3. 最終処分場 富山県立城ヶ原クリーンセンター  
 高岡市が指定する処理業者の市内の処理施設、高岡市が指定する処理業者

4. 許可期間 令和4年3月18日から  
 令和6年3月17日まで

5. 許可の条件  
 (1) 一般廃棄物の収集運搬は高岡市内とする。  
 (2) 一般廃棄物の種類は、可燃物、不燃物、紙くずとする。  
 (3) 申請書の記載事項に変更があった場合には、速やかに市に届出すること。  
 (4) 許可証に届出をせず、又は届出をしないこと。  
 (5) 積集所を停止、又は閉鎖しようとするときは、その旨を事前に市に届出を提出すること。  
 (6) 可燃物と不燃物を分別のうえ収集し、紙、金属等類ごみについては資源物と分別されるよう努めること。なお、そのほかの一般廃棄物については資源物の分別に限り、分別収集を要するものとする。  
 (7) 一般廃棄物を積集し、及び搬出しなければならないこと。  
 (8) 高岡市産業廃棄物の収集運搬、資源物及び資源物処理に関する高岡市資源物処理施設第1号の規定による一般廃棄物の収集運搬業務を併行して行うこと。  
 (9) 積集所及び中継所に違反したとき、又は別条中の許可条件に違反したとき、この許可を取り消すことができる。





### ③ エコアクションひろばの運営

2023年4月より、個人が思い立った時に気軽にリサイクル品を持ち込むことができるよう、資源・不用品回収広場「エコアクションひろば」の運営を開始。古紙、金属製品、パソコン類や食器、工具類など家庭の不用品を幅広く取り扱いを行い、廃棄物削減や資源効率性に寄与している。

“エコアクションひろば”では、回収する不用品の重量に応じて独自のポイントまたはエコ・アクション・ポイントを還元している。エコ・アクション・ポイントとは、環境省が推進する環境に配慮した行動・サービスの利用に対して付与されるポイントプログラムであり、当社グループは参加事業者として加盟している。貯めたポイントは寄付や景品に交換を行うことができ、個人の環境活動の見える化を促進している。当社グループのポイントは、ティッシュや高岡市内の契約飲食店割引券等各景品に交換が可能となっている。

持ち込み可能品についての問い合わせは、SNS 公式アカウントに品物の写真を送付してもらい対応を行うなど SNS を活用しながら廃棄物の適切な処理の啓発活動を行っている。



コンテナ 1	コンテナ 2		コンテナ 3		コンテナ 4						
<b>段ボール</b> OK NG パソコン類 OK NG	<b>古紙類</b> OK NG	<b>アルミ缶 スチール缶</b> OK NG	<b>ペットボトル</b> OK NG	<b>金属製品</b> OK NG	<b>ホイール</b> OK NG	<b>パソコン周辺機器</b> OK NG	<b>食器</b> OK NG	<b>ナイフ/フォーク/スプーン</b> OK NG	<b>工具類</b> OK NG	<b>本棚の類</b> OK NG	<b>おもちゃ</b> OK NG



## (2) 片づけ事業

令和2年4月から富山県全域と石川県全域にて「片づけ名人荒木商会」という名称を設定し、出張不用品回収を行っている。単品の回収から、個人宅やオフィスの片付けから不用品回収を全般的に行うパッケージサービス「片付けお任せパック」まで、幅広いニーズに迅速に対応している。

片づけに付随して、特殊清掃や仏壇神棚の供養の際の専門業者の紹介等のサービスも提供しており、顧客の「お困りごと」にきめ細やかに対応を行っている。

引っ越しや大掃除、断捨離、ゴミ屋敷の片づけの際の不用品を幅広く回収し、回収した廃棄物は、当社グループのバリューチェーンを生かしリサイクル品、リユース品に分別し、適正な処理を実施している。



## (3) 解体事業

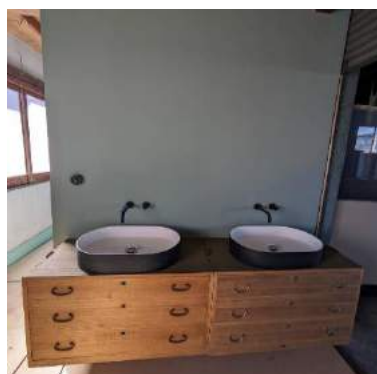
事務所・工場・倉庫・店舗・物置・住居等の解体工事を行っている。木造住宅解体、コンテナ解体、内装解体、外構解体などニーズに応じて対応している。

解体するだけでなく現場から生じる粗大ごみの収集、その後の各廃棄物の分別、リサイクル・処分も行っている。

## (4) リユース・リメイク事業

グループ企業の「株式会社 ROKA STYLE」では、当社グループが培ったノウハウを生かし、2024年5月よりリユース・リメイク事業を行う。片付け事業や解体事業の際の不用品の回収・買取を行った後、実店舗での試行販売やインターネットサイトを通して販売し、日本各地や海外に向けて不用品を必要な人に届ける取組を行っている。

「株式会社 ROKA STYLE」の社名には、一見「不用品」「ゴミ」として捨てられるものに対して、当社のフィルターを通し（濾過して）新たな価値を見出し、「必要なもの」「魅力的なもの」として必要な人に渡したいという思いが込められている。また「ROKA STYLE」には「OK」という文字が入っている。これは顧客・多様な従業員・地域などステークホルダー全てに対して「OK」といえる温かい会社づくりを目指す社長の思いが込められている。



本事業は当社グループがミッションとして掲げている「ゴミのない社会の実現」へ向けた取組であり、今後の注力事業として拡大させ、環境負荷低減に取り組んでいく。



#### (5) 一般廃棄物回収（株式会社柴垣商店）

商店街や個人商店、一般住宅などの燃えるゴミや資源ごみを集め、基準を守った適切な収集運搬を行っている。

当社グループとして、産業廃棄物のみならず一般廃棄物にも対応可能であることが総合リサイクル事業者として強みの1つとなっている。



#### (6) 就労継続支援 A 型事業所

就労継続支援 A 型事務所「一般社団法人はたらくよこび」を運営している。

「就労継続支援 A 型事業」とは、病気や障がいなどにより一般就労が難しい人と雇用契約を行い、職場体験・就労訓練を通じて一般企業の就職を目指す障がい福祉サービスの一つである。

当事業所の利用者は、株式会社荒木商会で回収した不用品の解体・資源の分別や、自社商品としての手芸品の制作・販売、鶏卵生産販売事業者仁光園で鶏卵の手洗浄作業等を行うなど事業所内外問わず、企業へ就職するための技能を学んでいる。当事業所で親身な相談の上、就職活動を支援している。



## 4. 環境問題への取り組み

### (1) エコステージの認定取得

2018年に環境経営システム「エコステージ」においてステージ2の認定を取得し、環境経営システムを導入している。事業活動を通して環境関連法規を遵守し、環境経営方針に基づき、環境改善活動に取り組むこととしている。



※エコステージ：一般社団法人エコステージ協会が運営する環境マネジメントシステムの規格・認証制度。環境マネジメントシステムの導入からCSR導入まで5段階のステージを備えている。

環境経営の管理体制の維持・強化のため、

- ① 省資源（6S活動）
- ② 廃棄物の削減・リユース・リサイクル（リサイクルを軸に5Rの考え方で事業を展開）
- ③ 環境負荷低減（埋め立て廃棄物削減）
- ④ 社会貢献（多様化した雇用形態の確立）の取り組みを行っている。

特に省資源（6S活動）では、整理、整頓、清掃、清潔、躰の5Sに安全（Safety）を加えた6S活動を通じ、職場環境改善と改善活動のPDCAサイクルを習慣化している。6S活動では以下の項目に注力している。

#### 【構内安全体制の構築と職場衛生環境の整備】

- ・ 構内マップと移動経路図を作成し、リフト作業者と歩行者の事故防止対策措置
- ・ 配線の整理や草刈り等社内の衛生環境を整備

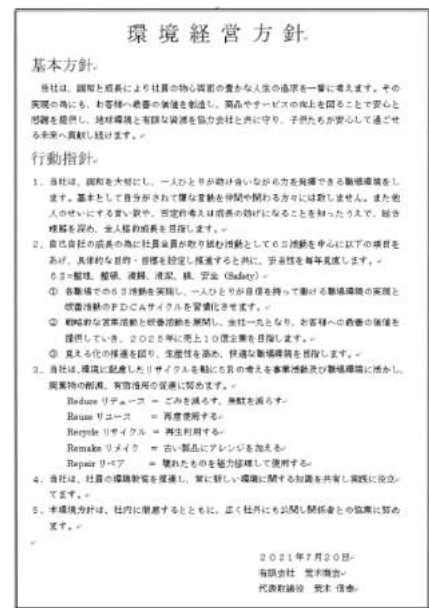
#### 【注意項目の共有体制の整備】

- ・ 熱中症対策・脱水症状のチェックシートを休憩室やトイレなど従業員が必ず目にする場所に掲示
- ・ 他社の作業時の事故事例・対策方法の共有
- ・ AED操作手順を掲示板と社内チャットツールで共有を行うなど、従業員の安全管理体制を整備

#### 【掲示板の運用・見直し】

- ・ 作業現場構内に「エコステ掲示板」を設置し、従業員に対して周知を行う項目を掲示・更新
- ・ 掲示方法は改善事例や指示事項の掲示のみではなく、リユース強化グループ、工具・車両、構内・安全衛生に分け、見やすく改善するなど随時掲示板の運用方法の改善

エコステージ2の認証を取得、認定継続を行うことにより当社グループ全体としての意識の醸成、取組を続けている。今後さらなる体制を強化し、GHG排出量の見える化、削減により計画的に環境負荷軽減の徹底を行う。



## 5. 職場環境

### (1) 福利厚生制度

従業員の働きがいを高め、エンゲージメント向上のためさまざまな福利厚生制度を整備している。

制度	内容
バースデー給付金	従業員の誕生日に商品券とバースデー休暇を付与している。
ありがとうポイント制度	全従業員に 1,000 ポイントを付与し、他の従業員に対する感謝の気持ちを 3 人に分割して授与できる制度。ポイント取得上位者に対し、毎月朝礼時に表彰を行っている。
入院保障・三大疾病保障	従業員に対する入院保障や三大疾病を患った際の金銭補償を行う。
有給休暇取得の推進	利便性を高めるため、30 分単位で使用できる有休 1 日分(8 時間分)付与を行っている。 有給休暇取得率は 2022 年において正社員が 13.1 日、パート従業員が 10.9 日と高い水準となっている。

### (2) 教育制度

#### ① 資格取得支援制度

当社グループでは、業務に必要であるトラックやフォークリフトを運転する大型自動車第一種運転免許取得費用やフォークリフト運転技能講習受講料を全額会社負担とする支援を行っている。

従業員のキャリア形成に必要な資格取得支援を通じて、今後も従業員のスキルアップを積極的に支援する方針。

#### ② 研修制度

研修制度については、外部のマネジメント研修などの受講を積極的に促している。新入社員向けのビジネスマナー研修や、AED 講習、他社の会社見学の実施、管理職向けの業界動向や知識定着に向けた研修等を導入。また職場のハラスメント防止措置としてハラスメント研修を実施し、従業員の心身の健康を守り働きやすい職場環境を整えている。

今後は階層別の研修制度の制定を行い、制度の充実を図ることで個々の更なるスキルアップを図り、階層や役割に応じたスキルを身につける体制の整備を行う方針。

#### ③ 人事評価制度の構築

当社グループは従業員が主体となり、人事評価制度の構築を行っている。

個々に目標設定、実践、フォローによる P-D-C-A サイクルを繰り返し、従業員が自分の将来の目標や求められている役割を理解し、企業、個人ともに持続的な成長につながる仕組みを構築している。



### (3)ダイバーシティへの取組

当社グループの特徴は、「共生社会の実現に向けたダイバーシティ経営」として人種・社会的な多様性、労働者の多様性を受け止め、助け合い・気付きを得て、人が成長できる職場づくりに挑戦していることにある。

当社グループの発展とともに、多様性の輪を拡張させていき誰もが安心して働ける社会の実現を目指している。

#### ① 障がい者雇用

「障害者雇用の促進等に関する法律」では従業員が一定数以上の規模の事業主に対し、従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を法定雇用率（民間企業の法定雇用率2.3%）以上にすることが義務付けられている。

富山県内企業においては徐々に障害者雇用者数は増加しているものの、令和5年現在の実雇用率は2.32%となっている。一方当社グループの中核企業である有限会社荒木商会では、2014年から障害者雇用を開始し、現在は3名を雇用。雇用率は令和5年6月現在で8.97%となっており、富山県平均の約4倍となっている。

#### ② もにす認定

障害者雇用率など積極的な取組が認められ、2023年11月に厚生労働省より「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認証制度（もにす認定）」の認定を受けた。富山県内で5社目の認定となっている。

##### 障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

数的側面		
雇用状況	実雇用率（令和5年6月1日現在）	8.97%
	障害者不足数	0.0人
定着状況	障害者の平均勤続年数	5年1か月
	勤続年数5年以上の障害者	50%

##### 障害者雇用への取組（認定に当たっての評価ポイント）

体制づくり	
組織面	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安心して働ける社会の実現を目指し、経営指針をホームページ等で社内外に発信しています。</li> <li>支援担当者を配置し、外部の有資格者とも連携しながら日常的に支援を行っています。</li> </ul>
人材面	<ul style="list-style-type: none"> <li>社長から社員全員に対し障害者雇用・ダイバーシティ経営について定期的に講義を行い、障害者雇用への理解促進を図っています。</li> </ul>
環境づくり	
募集・採用	<ul style="list-style-type: none"> <li>各支援学校からのインターンシップを毎年受け入れ、個人の特性をふまえて社長や支援担当者が指導・相談にあたっています。</li> </ul>
キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員が個々のキャリアプランを作成し、年2回の振り返りを行っています。個人目標を設定し、必要に応じた組織的フォローを実施することにより、本人のキャリアアップ、モチベーションアップ等につなげています。</li> <li>業務に必要な資格取得の費用全額を当社が負担しています。障害者の方も大型自動車運転免許、小型移動式クレーン免許、玉掛け技能等の資格を取得した実績があります。</li> </ul>

厚生労働省 「もにす認定」 荒木商会紹介HPより



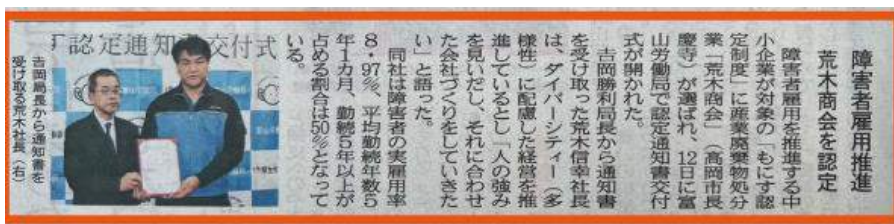
企業と障がい者が、明るい未来や社会の実現に向けて

**ともにすすむ**

という思いをこめて、愛称を「もにす」と名付けました。



富山労働局 認定通知書交付式開催



2023年12月13日 北日本新聞

### ③ 特別支援学校就労応援団とやま登録

拠点がある富山県では、特別支援学校高等部で学ぶ生徒の働く力の育成と就労による自立と社会参加を目的に、地元企業に職場見学や就業体験などを促す取り組みを行っている。当社は富山県内登録企業第一号となっており、心身に障害がある生徒の自立支援を積極的に行っている。

### ④ 難民申請者の採用

国内の難民申請者を対象に育成・採用・定着の一貫した伴走を行い、企業のダイバーシティ・グローバル化の推進を行う NPO 法人 WELgee からの紹介を受け、3 カ月間のお試し雇用を経て 2023 年 9 月よりカメルーン出身の難民人材 1 名を正社員として採用。北陸地域で数少ない難民人材採用事例となっている。当社グループは国籍も問わず従業員に対し、活躍できる場の提供を行っている。



### ⑤ 就職困難者の採用支援

富山県高岡市にある「コミュニティハウスひとのま」からの人材採用を行っている。「ひとのま」は、不登校、引きこもりやDV被害者などさまざまな理由で困難を抱える若者のサポートを行う施設である。当社グループは社会生活にチャレンジを行う人をアルバイトとして採用し、「居場所づくり」を行っている。

### ⑥ 女性活躍推進

パート女性従業員を希望に応じて正社員登用を行うなど、女性に対しても積極的な活躍の場を整備している。

### ⑦ デュアルキャリア支援

2024年3月以降富山県氷見市を拠点に活動を行うハンドボール選手を採用予定であり、アスリートの競技と仕事の両立の支援を行っている。

### ⑧ 高齢者雇用促進

70歳以上の従業員を希望に応じて継続雇用を行っている。過去80歳まで継続雇用を行った実績があり、業務内容の配慮を行い、長く働き続けられる環境を整えている。

## (3) BCP 対策

中部経済産業局「事業継続強化計画」に基づき、2023年に「大雨・台風による河川氾濫・洪水」及び、「強い感染力をもった感染症」が起こった場合を想定し、サプライチェーンの安定と、地域経済活性化に寄与する取組を行っている。

## 6. 地域貢献活動

### (1) ボランティア活動

2024年1月1日に起きた能登半島地震では、富山県の海沿い地域においても建物倒壊や土砂崩れなどの被害を受けた。

当社グループはいち早く氷見市役所と連携し、集積された災害ごみを処理所までの運搬や、支援団体から寄付された水を福祉施設に届けるボランティア活動を行った。本業を生かした活動を通じて地域の災害復興へ貢献した。今後も地元産業を支える企業の社会的責任を果たすため、地域貢献活動を行っていく方針。



### (2) インターンシップ

高岡市のインターンシップ推進事業に参加し、随時学生に対し、インターンシップを実施している。オンライン、リアル開催両方から広く受け入れを行うことで、地域の学生はもちろんインターン、1ターン就職を行う学生からも広く参加者を募り、地域の雇用活性化を担っている。



## 7. インパクトの特定

### (1)インパクトレーダーによるマッピング

当社グループのバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブ・インパクト及びネガティブ・インパクトの分布を調査。

国際産業標準分類		当社グループの事業					
		3811		3830		4669	
インパクトカテゴリー		非有害廃棄物収集業		材料再生業		廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品卸売業	
		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）	◆					
	食糧						
	住居						
	健康・衛生	◆◆		◆◆		◆	
	教育						
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー						
	移動手段						
	情報						
	文化・伝統	◆					
	人格と人の安全保障						
	正義・公正						
強固な制度・平和・安定							
環境	水（質）	◆◆		◆◆	◆◆		◆
	大気		◆	◆	◆		◆
	土壌	◆◆	◆◆	◆◆			
	生物多様性と生態系サービス	◆◆		◆◆			◆
	資源効率・安全性	◆	◆	◆◆	◆	◆	
	気候		◆		◆	◆	◆
	廃棄物	◆◆	◆	◆◆	◆	◆	◆
経済	包括的で健全な経済	◆					
	経済収束					◆	

主要事業は、国際産業標準分類に則り、「非有害廃棄物収集業(3811)」「材料再生業(3830)」「廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他製品卸売業（4669）」を適用。川上・川下事業は多岐にわたるため分析を省略する。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社グループの事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

インパクトマッピングにおいて、当社グループの事業に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「健康・衛生」「水（質）」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「廃棄物」が挙げられた。

一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーはポジティブで「水（入手）」「雇用」「文化・伝統」「包括的で健全な経済」「経済収束」、ネガティブで「雇用」「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。



なお、「水（入手）」「大気」「文化・伝統」「経済収束」については当社グループ事業との関連性が希薄のため分析対象外とする。

当社グループの主力事業である資源回収や片付け事業等リサイクルに関わる事業や、産業廃棄物の収集・運搬・再利用そのものが地域循環経済社会へ貢献する取組みとなっている。廃棄物の分別部門は、可能な限り手作業で分別することによって、機械では分別不可能な細部まで丁寧に分解・分別している。その結果、リサイクル事業者や各メーカー・問屋に持ち込むものの割合が95%超となっており、廃棄物処理が適正にされていると判断できる。廃棄物の3R活動および適正な処理を行うことは、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会を構築する上で多様な産業の事業活動を支えるインフラとなっている。当社グループの事業は環境面の「**廃棄物**」「**資源効率・安全性**」「**包括的で健全な経済**」ポジティブ・インパクト拡大に大きく寄与している。

当社グループでは“リユース・リメイク事業”を新規注力事業と位置付けている。リユース・リメイク事業を拡大することで、廃棄物排出量の削減や資源効率性を高め、焼却処理量の削減を実現させ、環境負荷の低減を進めている。回収品目や回収方法・エリアを広げてきたリサイクル事業に加えて、リユース・リメイク事業の拡大を進め、本来廃棄物となるものを必要な消費者へ売却することにより、「**資源効率・安全性**」「**廃棄物**」のポジティブ・インパクト増加させることに寄与している。

2023年から運営を開始した“エコアクションひろば”では、家庭の資源物や不用品を随時受け入れており、回収品目も多岐にわたる。地域の不法投棄を抑制につながり、「**水（質）**」「**土壌**」「**生物多様性と生態系サービス**」「**健康・衛生**」のポジティブ・インパクト拡大に寄与している。

事業全般において、回収物は手作業で細部まで適切に分別・処理しており、周辺環境に及ぼし得るネガティブ・インパクトの低減を図っていると評価。

当社グループの中核企業である有限会社荒木商会は、2018年に環境経営システムのエコステージ2の認証を取得。エコステージ2は環境経営システムの構築を狙いとしたものであり、毎年定期評価を行うことで環境マネジメントシステムの構築・運用の定着を目指している。当社グループとして今後はGHG排出量の見える化・削減を通じてさらなる環境経営を進め、「**気候**」のネガティブ・インパクト低減を図っていく。

当社グループの事業においては、雇用面について安定雇用による生計へのポジティブ・インパクトがある一方、労働者の健康面のネガティブな影響がある。加えて、ダイバーシティ経営に特に注力しており、多様な人材の雇用を積極的に行い活躍できる環境を整えている。障がい者や難民申請者、非正規雇用者やさまざまな理由での就業困難者についても、誰一人取り残さず積極的に雇用契約を結び、安定的な雇用を提供することで、「**雇用**」のポジティブ・インパクト拡大に寄与している。

一方ネガティブ・インパクトの要素である労働者の健康面については、多様な休暇制度を整備しワークライフバランスのとれた働き方を行い、従業員の健康面への配慮や従業員のリフレッシュによる生産性の向上に向けた取組を行っており、「**雇用**」のネガティブ・インパクトを抑制している。

## (2)インパクトカテゴリーに対する SDGs ゴール

当社グループの売上高の大半は日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから同社グループのインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs ゴールは下記となる。



## (3)日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残る項目が「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 6 項目のうち、2 項目が大きな課題が残る、3 項目が重要な課題が残る、1 項目が課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 6 該当していることから、日本における当社グループのインパクトは重要度が高いと判断する。



(出典：SDGs ダッシュボード)

#### (4)インパクトの特定

- 廃棄物排出量削減に向けた取り組みによる地域循環経済への貢献
- 環境負荷低減に向けた取り組みの強化
- 多様な人材が輝き、長く働き続けることができる職場環境の整備

#### (5)特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社グループのバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや方向性等を踏まえて、当社グループと特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「廃棄物排出量削減に向けた取り組みによる地域循環経済への貢献」「環境負荷低減に向けた取り組みの強化」「多様な人材が輝き、長く働き続けることができる職場環境の整備」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。


「廃棄物排出量削減に向けた取り組みによる地域循環経済への貢献」では「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」という観点で、「環境負荷低減に向けた取り組みの強化」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「多様な人材が輝き、長く働き続けることができる職場環境の整備」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs 達成に向けた取り組みの支援を目指す。

## 8. KPI の設定

### ● 廃棄物排出量削減に向けた取り組みによる地域循環経済への貢献


事業活動を通じてゴミのない社会実現へ向けて挑戦を行うべく、リユース事業の本格稼働を行う。リユース事業の拡大を通じて環境面へ貢献を行う。

項目	内容
インパクトの種類	環境面のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	資源効率・安全性、廃棄物
関連 SDG s	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社グループの新会社である株式会社 ROKA STYLE におけるリユース・リメイク事業（個人・法人から回収した骨董品・家具・家電等）の拡大</li><li>・インターネット販売や店舗販売を通じたリユース・リメイク品の販路拡大</li></ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"><li>・2024 年に本格稼働するリユース・リメイク事業の売上高 2027 年度 100 百万円</li></ul> ※2028 年度以降の目標は改めて設定予定



● 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化

当社グループが認定を取得している「エコステージ2」の環境マネジメント体制を強化し、GHG 排出量の見える化、削減に向けて省エネルギー対策の推進を図り、計画的に環境負荷軽減の徹底を行う。

項目	内容
インパクトの種類	環境面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリ	「気候」
関連する SDG s	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境マネジメント体制の強化</li> <li>・ GHG 排出量の削減</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2026 年度までに環境経営システム「エコステージ3」の認証取得</li> <li>・ 2026 年度までに GHG 排出量を見える化し、削減目標を設定（2027 年度以降は削減に取り組む）</li> </ul>

● 多様な人材が輝き、長く働き続けることができる職場環境の整備

当社グループは「誰もが安心して働ける社会」を実現するため多様な人材を受け入れ、適材適所を見きわめて個々の能力を生かせる職場環境を構築し、積極的に採用を行う。

従業員主体の人事評価制度導入により、従業員が自分の将来や求められている役割を理解し、企業・個人ともに持続的な成長につながる仕組みを構築し、人材育成の高度化を図る。

併せて、従業員のスキルアップに繋がるような階層ごとの研修を充実させることにより従業員のモチベーションの維持向上に繋げていく。

項目	内容
インパクトの種類	社会のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDG s	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材が活躍できる職場環境の構築</li> <li>・人事評価制度の導入・活用による人材育成</li> <li>・目標設定、フォローによる P-D-C-A サイクルを回すことで個々のスキルアップ支援</li> <li>・人材育成ビジョンの推進のため、階層や役割に合った研修の充実</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者・難民申請者・就職困難者・高齢者・デュアルキャリア採用の中から毎年2名以上を雇用</li> <li>・2025年度までに人事評価制度の新規導入</li> <li>・2025年度までに階層別研修制度を制定</li> </ul>

## 8. 管理体制とモニタリング

### (1)インパクトの管理体制

当社グループは、代表取締役の荒木様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、リサイクルクリエイイト部の吉田様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 荒木 信幸
管理責任者	リサイクルクリエイイト部 課長 吉田 佑介

### (2)モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社グループとで定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社グループが協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が有限会社荒木商会から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871